

記者発表資料

提供日：平成 18 年 7 月 25 日

担 当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局

連絡先：03-3664-8739

いい花の新基準。



JAPAN FLOWER
SELECTIONS

ジャパンフラワーセレクション花壇苗部門「夏花壇」の審査会を 浜名湖ガーデンパークで開催し23品種が入賞に選出。

1. 概要

2006年春からスタートした全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」の花壇苗部門「夏花壇」の審査会を、7月25日浜名湖ガーデンパーク内ジャパンフラワーセレクション審査用花壇で実施し、23品種が入賞に選定されました。

今回「入賞」した品種は「JFS 受賞マーク＝草かんむりマーク」を表示して販売することができ、年末の中央審査委員会では「最優秀賞（フラワー・オブ・ザ・イヤー）」「優秀賞」「特別賞」の対象品種としてノミネートされます。

■実施概要

日時：2006年7月25日（木）10:00～15:00

場所：浜名湖ガーデンパーク

ジャパンフラワーセレクション審査用花壇

■審査対象および結果

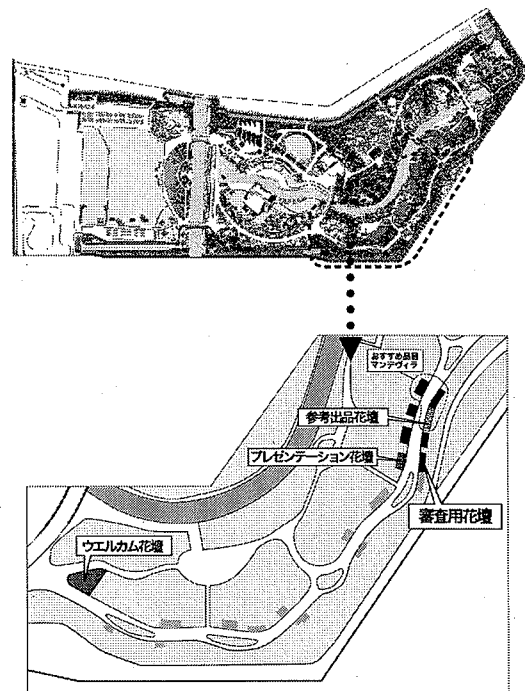
年5回（春、初夏、夏、秋、冬）季節ごとに実施される花壇苗等部門のうち夏花壇出品品種を審査しました。

出品品種数：36品種 入賞品種数：23品種

—主な出品品種は、マンデヴィラ（テーマ品目）、ペツニア（ペチュニア）、カリブラコアなどです。

—現地では審査対象品種の他に、マンデヴィラの参考出品7品種の植栽を行っています。

—出品品種は見頃が終了する9月（マンデヴィラは11月）まで来園者の方にお楽しみいただけます。



■審査委員

国内の花き業界を代表する学識者、フラワーデザイナー、花の市場関係者など6名の審査委員により、公正な視点で専門的に審査を行ないました。

大川 清	静岡大学 名誉教授
土井 元章	信州大学農学部 教授
長岡 求	(株) フラワーオークションジャパン 総合研究センターマネージャー
安藤 正彦	(有) 長良園芸 代表取締役
村松 文彦	(株) 村松園芸 代表取締役
三輪 智	元静岡県農業試験場 場長

2. 入賞品種、受賞者は別紙

3. 審査委員長講評

ジャパンフラワーセレクション花壇苗部門・夏花壇には36の種類・品種の出品がありました。内訳はペチュニア15品種、マンデヴィラ6品種、カリブラコア3品種など10種類でした。出品された種類・品種は5月中旬から6月中旬にかけて定植されましたが、今年5月中旬以降降雨の日が多く、審査日(7月25日)になっても梅雨が明けない異常な気象条件下で栽培されたため、日照と温度不足のため、生育が遅れ、審査日になっても開花しないものや立ち枯れ症状を示すものなどが若干みられました。しかし、栽培を担当された浜名湖ガーデンパークの献身的な努力で異常気象の影響を最小限にすることができました。特にペチュニアとカリブラコアの1株当たり6,000近い累積開花数の調査には敬意を表します。

審査の結果、夏花壇の材料として優れたもの23点が入賞しました。これらの種類・品種が普及することを期待します。

■ ジャパンフラワーセレクション事業に関するお問い合わせは、ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局
〒103-0004 中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4階 (財)日本花普及センター内
TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743
E-mail: jfpc@jfpc.or.jp http://www.jf-selections.net